

とよさきようじえんだより

令和8年3月1日
綾部市栗町土居ノ内57-1
電話 0773-48-0256
園携帯 090-3358-3717

【教育理念】
地域の文化に触れながら一人一人の可能性を認め、人や物との関わりを大切に豊かな心を育てる。

【教育方針】
・豊かな人間性をもった子どもを育成する。

【教育目標】
・「生きる力」「生きる喜び」の基礎を育てることを目指す。

☆一年間ありがとうございました☆

冬の間、何もしていないように立っている木も、小さい固い芽を必死に守っています。春に立派な葉を繁らせるために…。

子どもたちも何もしていないように見えても、次のステップへの準備をしています。それは将来のためのとっても大切な時間なのです。他の子と比較したり、焦ったりせず、我が子の成長をマイペースで見守ってあげてください。

瞳をキラキラ輝かせながら「卒園まであと何日？」と指折り数える子どもたちを見ながら「元気に大きく成長してくれてありがとう！」という感謝の気持ちと「もうすぐお別れなんだなあ」という寂しい思いが交錯する今日この頃。子どもたちには残り少なくなった園生活、最後までびのびと過ごしてくれたら…。

そして仲良しのお友だちや、楽しかった出来事をしっかりと心に刻んでおいてほしいと思います。

この一年で子どもたちは心身ともにすいぶん成長してくれました。園生活で学んだいろいろなことがきっと人生のどこかで役だってくれると思います。

保護者の皆様の温かい励ましやご協力、また子どもたちの明るい笑顔に支えられ無事過ごすことができました。事故や怪我なく皆揃って進学、進級できることを嬉しく思います。

地域の皆様や保護者の皆様、一年間ありがとうございました。惜しみないご協力をいただきましたことを職員一同、心よりお礼申し上げます。



3月の予定

- ・3日(火) …おひなまつり会
- ・9日(月) …お誕生会
- ・13日(金) …なかよし会
- ・21日(土) …卒園式
- ・26日(木) …そうじの日
- ・27日(金) …避難訓練
- ・31日(火) …入園式(新入園児のみ)
- ・4/1(水) …進級式(全園児平常保育)

～園生活を振り返って～

きく組の保護者ひとりひとりから職員を労うお言葉をたくさんいただきました。職員一同大変感謝と励みになり、ありがとうございました。一部ですが抜粋してご紹介いたします。

1歳半で5月頃から入園で、皆より少し遅れての園生活スタートだったため、親としては不安もありましたが、お迎えに行くといつもニコニコした笑顔を見せてくれ、安心したことを覚えてます。すぐにクラスのお友達と打ち解け、降園時と一緒にすると皆で自然と手をつないで帰ろうとする姿は、とても微笑ましく心に残っています。

4歳頃からは、園で楽しかったことを自分から話してくれるようになり、帰宅後にその話を聞く時間も大切な思い出です。いつの間にかできることが増え、弟ができてお世話や面倒をみてくれたりと、お兄ちゃんらしく成長した姿に親として胸が熱くなりました。

一人ひとりの気持ちや小さな変化にも丁寧に寄り添い、温かく見守ってくださった先生方のおかげで、ここまで安心して園生活を送ることができました。心より感謝申し上げます。

ばら組の頃は話してくれる内容の半分くらいしか理解できませんでしたが、ゆり組になるとたずねたことにきちんと答えられるようになり、きく組の今ではお友達と遊んだ内容や先生から伝えてねと言われたことをしっかりと話せるようになりました。園生活が子どもの成長に大きく関わっていただたつくづく思います。何よりも子どもが毎日楽しみに登園できたのは、お友達や先生に恵まれていたおかげです。子どものいいところをたくさん見つけて、引き出して成長を見守ってください、ありがとうございます。

1年を振り返って

きく組(5歳児)

きく組の子どもたちに聞いてみました。「きく組になってどんなことが楽しかった？心に残ったことあるかな？」すると「楞厳寺へ散歩したこと！」「バス遠足！」「鼓笛！」「発表会のかくや姫！」「ドッジボール！」「ミャクミャクのおみこしでワッショイしたこと！」などなど口々に発表してくれました。楽しくて笑う時もあれば、落ち込んで慰めあったり、うまくいかない時は励まし合ってきた毎日でした。そんな充実した日々を過ごせたのは保護者の方の協力とお子さんへの温かくて深い愛情があったからこそです。ありがとうございます。心から感謝しています。

さあ、ヒカヒカの1年生！小学校生活を元氣いっぱい送ってくださることを願っています。



ゆり組(4歳児)

この一年を通して頑張ったことは「自分でできることは自分で言い、できることを増やす」「友だちとのつながりを深める」ことでした。「自分のことは自分で…」は自立の第一歩です。自分の持ち物は自分で持つ、やかんからお茶を入れる、こぼれたら拭く、テーブルを協力して出す、遊びの用意、片付けをする、バケツに水を汲んで雑巾がけをする、など…。4歳児なりにできることを増やすうち、生活のほぼ全般の事ができるようになり、集団で決まりや約束を守って生活できるようになってきました。

生活をすることで当番活動では友だちと協力しなければならない場面も多くなりました。お互いに声をかけ合って力を合わせる、常に隣には友だちの姿があり、仲を深めることができたようです。

きく組に進級しても、友だちと助け合い、いろいろなことにチャレンジして欲しいと思います。



ばら組(3歳児)

春、まだ少し大きな制服に身を包んでいた子どもたち。ふと今、足元を見ると、裾上げされたスボンから足首が見える程大きくなりました。「身の回りのことを自分ですることを最も大切にしてきた一年間。朝の準備、給食の用意、帰る準備等一つ一つを確認しながら行っていたことが今では声かけひとつでできるようになりました。お家でお弁当の出し入れを自分でしたり、明日の予定を伝えている子もいます。「自分でできる」自信を持って、更にいろいろなことに挑戦していける子どもたちをこれからも見守っていきたいと思います。一年間、ばら組の保育にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。



もも組(2歳児)

～一年を振り返って頑張ったこと～

この一年、2歳児クラスではトイレの自立と正しいお箸使いをすることを頑張ってきました。まずトイレトレーニングでは一人ひとりの排泄の間隔を把握し、個々の成長のタイミングに合わせ、トイレへと誘いかけることから始め、無理なく進めることができたと思っています。クラスの全員が布のパンツ使用へと移行でき、お家の方と共感できたことを嬉しく思います。そして今、自分の脱いだ服をたたむことやリトミックで体幹を鍛えることを頑張っています。

お箸を使って食べることも毎日経験を重ねることで上手になりました。



さくら組(0,1歳児)

一年間を通してふれあい遊びやリズム遊びが大好きで、お友だちの真似っこをしながら一緒に体を動かして楽しんできました。

また絵本も大好きで読み聞かせをはじめると驚くほど集中し、静かに見入っています。特に『だるまさんが』の絵本では、左右にだるまさんが揺れると、同じようにユラユラしたり、お友だちと笑い合ったりしながら楽しんでます。

これからもたくさんさんの絵本に触れ、絵本に親しんでほしいと思い、読み聞かせをしています。お家でもたくさんさんの絵本の読み聞かせをしてあげてください。

